

経営技術論 木曜日5限 前期 LT1022 教室

●授業の概要・目的

〈概要〉 技術の発達は、企業におけるビジネスのやり方や業務形態に劇的変動をもたらします。そのため企業の持続的成長のための経営戦略策定にあたっては科学・技術の歴史的発展構造に関する理解が必要不可欠です。そのため技術のわかる経営者が必要とされています。こうした観点から本講義では、現代的技術体系の歴史的形成過程、および、技術発展に対応した企業の生産システムの歴史的展開を取り扱います。

〈到達目標〉 企業の競争優位の獲得における技術的要因の機能と役割について学び、自分の頭で考察できるようになることを目的とする。

●授業内容

第1回 Technology に対する Management の意義と役割 — Technology による製品差別化

第2回 生産に関わる現象と理論—Production vs Product, Innovation-Invention-Discovery の区別と連関...経済と技術と科学の相互関連

第3回 プロダクト・イノベーションに関する needs=seeds 視点からの分析 — Demand 形成の構造に関する Necessity/Usefulness-Wants-Demand 図式

第4回 Needs=Wants の存在構造の歴史的変化、および、歴史的変化を引き起こす一つの要因としての技術革新

第5回 Product に関する Technology-Function-Performance 論、および、Cost-Benefit 論からの考察 — Function・Product・Needs・Necessity の階層性と多様性、Necessity/Usefulness-Wants スペクトル

第6回 Seeds-Product と Needs-Wants-Demand という二つのシステムの相互連関 — シーズ（要素技術）と製品、ニーズ（客観的必要性）とウォンツ（欲求）と需要

第7回 Wants の「推測」と「発見」 — トライ・アンド・エラーによる Wants の社会的「発見」

第8回～第9回 アッターバックのドミナント・デザイン論

第10回 マーケット・ニーズ vs 技術的ニーズ — 最終消費財に対する Needs, 中間財に対する Needs, 技術に対する Needs

第11回～第15回 技術のネットワーク的発展構造に関するケーススタディ — Necessity/Usefulness と Seeds の協働による技術発展

●履修の注意点

〈履修上の注意〉 本授業に関連する基礎的知識を有すること。

〈準備学習〉 前回の講義内容の復習とともに次回の授業範囲の予習し、授業内容の理解に必要なキーワードに関しては、自分でインターネットや図書館などを利用して十分に調べておくこと。

●教科書 なし

●参考書

橋本和美ほか(2005),『テクノ・グローカリゼーション』梓出版社。その他、授業内容の理解を深めるための参考書は、授業中に適宜紹介します。

●成績評価の方法

学期末試験:100%

●その他

授業に必要な資料はプリントして授業中に配布します。また、<http://www.sanosemi.com/biztech/biztech.htm> で授業関連情報が入手できるようになっています。